

猿沢地区振興会だより

発行元
〒029-0431
大東町猿沢字板倉 57-1
(猿沢市民センター内)
猿沢地区振興会



いよいよ開催!
猿沢秋祭り

10月21日(日)
9時45分スタート

会場:猿沢市民センター駐車場

9時45分~
開会行事
餅まき



10時~
ステージ発表
各種屋台出店



13時~
神輿渡御・お供行列



=お楽しみの屋台は=

・猿沢羊羹 400円(限定200本)

【1区・清水川自治会】

焼きそば 300円
万ツカトル 100円
ポップコーン 100円

【4区婦人会有志】

おふかし 200円
汁物 100円

【新渡戸青年部】

焼き鳥



1本	5本	10本
80円	350円	600円

玉こんにゃく 1カップ 100円
万代ポテト 1カップ 100円

【有志】

水あめ 100円
コーヒー 100円
ゼリージュース 150円



皆様のご来場をお待ちしております。
詳しくは別紙チラシをご覧ください。



人口と世帯数 平成30年9月30日現在 (前月比)			
一関全体	人口	11万7,814人	-103
	男	5万7,126人	-53
	女	6万0,688人	-50
	世帯数	4万6,335世帯	-25
大東地域	人口	1万3,551人	-12
	男	6,628人	-2
	女	6,923人	-10
	世帯数	5,052世帯	4
猿沢地区	人口	1,702人	2
	男	837人	3
	女	865人	-1
	世帯数	589世帯	1

特別出演
ミリオンスターレコード
奥沢 きく子 さん



また、ミリオンスターレコードの奥沢きく子さんが特別出演します。
詳しい日程やプログラムは、猿沢芸術文化協会発行のチラシをご覧ください。
多くの皆様のご来場をお待ちしております。

日頃の成果を発表します。
また、ミリオンスターレコードの大勢の出演者が、たさまざまなジャンルから大勢の出演者が、神楽や大正琴、器楽演奏、民謡、舞踊といったさまざまなジャンルから大勢の出演者が、交流館で開催されます。

猿沢地区

芸能発表会

11月11日
午前10時~
会場
猿沢伝承交流館



猿沢小学校3学年
振興会を見学



9月20日(木)、猿沢小学校3年生の児童8人が、授業の一環で振興会の見学にきました。振興会とはどんな仕事をしているのか、猿沢にはどんな名所や文化財があるのかを、振興会職員の説明を子ども達は興味深く聞いていました。

その後、振興会で取り組んでいる猿沢羊羹の製造所を見学。羊羹のお母さん達が材料や作り方を説明し、羊羹を作り始めた経緯や、猿沢への思い、羊羹への思いを子ども達に伝えました。



子ども達は小学校の畑に小豆を栽培しているということで、自分たちが育てた小豆で羊羹を作ってみたい!というのが子ども達の目標だそうです。現在収穫した小豆は乾燥中で、近々その小豆で羊羹作りに挑戦するそうです☆
将来、この子達が、自信をもって自分が住む猿沢をPRできるようなまちづくりをしていきたいですね。

3年生のみなさん!これからもがんばってください☆

2018
10月号

いちのせき市民活動センター

つなぐひろがる

いちのせき市民活動センター

二言三言
第52回

対談者 一関市大東町 猿沢地区振興会 会長 菊地 昌芳 さん
聞き手 いちのせき市民活動センター センター長 小野寺 浩樹

地域づくりの中で、若い力は貴重な存在。大東町の猿沢地区振興会(以下、「振興会」)の理事長である菊地昌芳さんは、40代と市内協働体の中で一番若く、1期2年目になりました。そこで、今回は振興会会長の菊地さんに、会長に任命された背景とともに、振興会の動きや地域づくりの視点についてお話を伺いました。

【小野寺】菊地さんは、3年前の協働体が作成する地域づくり計画策定のワークショップ(以下、「WS」)で初めてお会いしたのですが、その頃は副会長でした。その時も若い副会長さんだという印象だったのですが、そもそも地域づくりに関わるきっかけは何だったのですか?

【菊地】一関市が「地域協働」という語をする前から猿沢には振興会があり、それが母体となって市に協働体の届け出をしたというのが背景です。それと同時に、協働を推進していくために、これまでの振興会のあり方をみながら、新体制でスタートをしようという機運が高まり、平成27年度に三役、事務局の入れ替えがありました。それまで、小学校のPTA役員だったので、会長代理というかたちで会議などに参加していたのですが、そのうち当時の理事さんからの推薦で副会長になったわけです。【小野寺】最初に振興会に関わるようになった時、どう感じましたか?

フタコ×ミコト
第52回 二言三言 123/118,015

新風を巻き起こせ!自分らしさ、地域らしさを活かす地域づくり

対談者 一関市大東町 猿沢地区振興会 会長 菊地 昌芳 さん
聞き手 いちのせき市民活動センター センター長 小野寺 浩樹

【小野寺】WSでは、たくさんの方の意見も出て、面白かったという印象が強いのですが、実際これまでも住民が集まってアイデア出しをする場は地域にあったのでしょうか?

【菊地】私が知らないかもしれませんが、ないですね。確かにWSでは地域の課題をみんなで共有したくなるといいます。そこで生まれたアイデアを基に、「やるぞ!」となった思いをどう盛り上げるか、それが運営側にとって大事なところなんだと実感しましたね。

【小野寺】WSでは、たくさんの方の意見も出て、面白かったという印象が強いのですが、実際これまでも住民が集まってアイデア出しをする場は地域にあったのでしょうか?

【菊地】私が知らないかもしれませんが、ないですね。確かにWSでは地域の課題をみんなで共有したくなるといいます。そこで生まれたアイデアを基に、「やるぞ!」となった思いをどう盛り上げるか、それが運営側にとって大事なところなんだと実感しましたね。

【小野寺】WSでは、たくさんの方の意見も出て、面白かったという印象が強いのですが、実際これまでも住民が集まってアイデア出しをする場は地域にあったのでしょうか?

【菊地】私が知らないかもしれませんが、ないですね。確かにWSでは地域の課題をみんなで共有したくなるといいます。そこで生まれたアイデアを基に、「やるぞ!」となった思いをどう盛り上げるか、それが運営側にとって大事なところなんだと実感しましたね。

【小野寺】WSでは、たくさんの方の意見も出て、面白かったという印象が強いのですが、実際これまでも住民が集まってアイデア出しをする場は地域にあったのでしょうか?

【菊地】私が知らないかもしれませんが、ないですね。確かにWSでは地域の課題をみんなで共有したくなるといいます。そこで生まれたアイデアを基に、「やるぞ!」となった思いをどう盛り上げるか、それが運営側にとって大事なところなんだと実感しましたね。

【小野寺】WSでは、たくさんの方の意見も出て、面白かったという印象が強いのですが、実際これまでも住民が集まってアイデア出しをする場は地域にあったのでしょうか?

【菊地】私が知らないかもしれませんが、ないですね。確かにWSでは地域の課題をみんなで共有したくなるといいます。そこで生まれたアイデアを基に、「やるぞ!」となった思いをどう盛り上げるか、それが運営側にとって大事なところなんだと実感しましたね。

【小野寺】WSでは、たくさんの方の意見も出て、面白かったという印象が強いのですが、実際これまでも住民が集まってアイデア出しをする場は地域にあったのでしょうか?

【菊地】私が知らないかもしれませんが、ないですね。確かにWSでは地域の課題をみんなで共有したくなるといいます。そこで生まれたアイデアを基に、「やるぞ!」となった思いをどう盛り上げるか、それが運営側にとって大事なところなんだと実感しましたね。

いちのせき市民活動センターが毎月発行している「アイデア10月号」に、当会の菊地会長と市民活動センター小野寺所長の対談が掲載されています。いちのせき市民活動センターのホームページでも紹介されておりますのでご覧下さい。

たほうがいいと思っていて、そうじゃないと本音でディスカッションはできないと思うんです。理事会で正式に話し合いができるよう、リーダーとして努力したいです。

【小野寺】周りのサポートが何よりも大切なことで、反発的な意見でもいいと私も思っています。そうしないと本音が聞かせませんからね。

【菊地】そうですね。そういったことも含めて、会長になった当初は「大丈夫じゃない」とよく言われましたが、会議への参加、責任、自分のは大変だと思っていなくて、むしろ、それが会長の役割で、具体的な部分は他のみなさんに任せると。小さい頃から祖父や父が地域に関わってきた姿を見ていたので、自分もそういう歳になったのかな?というくらいです。

【小野寺】WSでは、たくさんの方の意見も出て、面白かったという印象が強いのですが、実際これまでも住民が集まってアイデア出しをする場は地域にあったのでしょうか?

【菊地】私が知らないかもしれませんが、ないですね。確かにWSでは地域の課題をみんなで共有したくなるといいます。そこで生まれたアイデアを基に、「やるぞ!」となった思いをどう盛り上げるか、それが運営側にとって大事なところなんだと実感しましたね。

【小野寺】WSでは、たくさんの方の意見も出て、面白かったという印象が強いのですが、実際これまでも住民が集まってアイデア出しをする場は地域にあったのでしょうか?

【菊地】私が知らないかもしれませんが、ないですね。確かにWSでは地域の課題をみんなで共有したくなるといいます。そこで生まれたアイデアを基に、「やるぞ!」となった思いをどう盛り上げるか、それが運営側にとって大事なところなんだと実感しましたね。

【小野寺】WSでは、たくさんの方の意見も出て、面白かったという印象が強いのですが、実際これまでも住民が集まってアイデア出しをする場は地域にあったのでしょうか?

【菊地】私が知らないかもしれませんが、ないですね。確かにWSでは地域の課題をみんなで共有したくなるといいます。そこで生まれたアイデアを基に、「やるぞ!」となった思いをどう盛り上げるか、それが運営側にとって大事なところなんだと実感しましたね。

【小野寺】WSでは、たくさんの方の意見も出て、面白かったという印象が強いのですが、実際これまでも住民が集まってアイデア出しをする場は地域にあったのでしょうか?

【菊地】私が知らないかもしれませんが、ないですね。確かにWSでは地域の課題をみんなで共有したくなるといいます。そこで生まれたアイデアを基に、「やるぞ!」となった思いをどう盛り上げるか、それが運営側にとって大事なところなんだと実感しましたね。



後援に引き続き「二言三言」WS。小野寺による挨拶と説明

【小野寺】WSでは、たくさんの方の意見も出て、面白かったという印象が強いのですが、実際これまでも住民が集まってアイデア出しをする場は地域にあったのでしょうか?

【菊地】私が知らないかもしれませんが、ないですね。確かにWSでは地域の課題をみんなで共有したくなるといいます。そこで生まれたアイデアを基に、「やるぞ!」となった思いをどう盛り上げるか、それが運営側にとって大事なところなんだと実感しましたね。